

鳥取大学工学部電気電子工学科同窓会

# 湖鳥会会報

第14号 平成25年10月 鳥取大学 工学部 電気電子工学科 同窓会 「湖鳥会」

鳥取大学 工学部 電気電子工学科 平成24年度 卒業研究発表会  
未来はここから生まれる！電気電子の世界2013



## ◇学科長挨拶◇



鳥取大学大学院工学研究科  
情報エレクトロニクス専攻 電気電子工学コース  
コース長 近藤 克哉

湖鳥会の皆様には益々ご活躍のこととお喜び申し上げます。また、いつも温かなご支援とご協力に感謝申し上げます。

大学内外ともに変革の時代を迎えております。本学科ではその時代の要請に応えるべく、基幹産業を支える電気電子工学の基礎教育を重視しつつ、高度な教育と最先端の研究を行う体制を整え、常にチャレンジ精神を持って改革を進めています。教員18名、学部学生300名程で、全国の工学系のなかでも学生一人一人の顔が見える、きめ細かな教育指導をモットーとし、先駆けて日本技術者教育認定機構（JABEE）の認定を受けたのが10年前の平成15年。その精神を大事にしながら頑張っているところです。一方で研究活動は益々盛んで、無線通信、音声信号処理、画像処理、コンピュータビジョン、風力発電、太陽光発電、移動ロボット、マンマシンインターフェイス、次世代メモリ、機能性電子材料、半導体光エレクトロニクス、有機半導体などに関して行っています。現在、4年生の6割近くの学生が大学院へと進学し、高い水準の研究成果を上げ国内外で高い評価を受けています。大学院においても「電気電子工学科」の教育理念に沿って、活

気ある講義・研究を実践しています。さらに他機関との共同研究や受託研究などを含む科学技術研究の実施による学術の産業界への応用展開や科学教室の実施など地域貢献にも力を入れています。幸い、本学科入試倍率（前期）は、昨年 5.7 倍、今年 5.0 倍と高い倍率で推移しており、志願者数は学科規模に対して多い部類ではないかと思えます。

平成 23 年小西亮介教授が、平成 24 年に西守克己教授が定年退職され、来年 3 月には安東孝止教授が定年退職されます。学科にとって痛手であります。その一方で、平成 24 年大観光徳准教授が教授に、平成 25 年木下健太郎助教が准教授に昇任し、また平成 23 年吉留 健教授、平成 24 年三柴 数助教を迎えました。さらに李相錫教授（有期）と宮下英俊助教（有期）も加わり本学科の陣容も少しずつ変わってきています。

大学院情報エレクトロニクス専攻は、電気電子工学コースと知能情報工学コースから構成されますが、学部においてもこの両コースの力を合わせ、教職員と学生が一体となって、より一層の努力と研鑽をしていく所存です。電気電子工学科はあと 2 年で設置 50 年を迎えます。今後とも先輩諸兄からの叱咤激励をお願い申し上げます。

## ◇会長あいさつ◇



昭和 43 年（第 4 期）鳥取大学工学部、電気工学科入学  
吉 田 和 行

国内最高気温の記録を各地で塗りかえ、ゲリラ豪雨が頻発し、多くの被災地域が出るなど、猛暑の夏も過ぎようとしています。また年初よりの円安、株高に押され景気浮揚の兆しが見え隠れするなか、先に実施された国政選挙では与党が圧倒的し復権となりました。長期政権が予想され、憲法改革、消費税引き上げ等の重要課題がどう動くのか、ついに 1000 兆円を超えた国の債務をどうするか、失われた 20 年の次を如何に創って行くのか、国の行方がおおいに気になるこの頃です。

湖鳥会の会員の皆様におかれましては世界の各地、各分野で益々のご活躍のこととお喜び申し上げます。ふり返れば、昭和 40 年鳥取大学に電気工学科と機械工学科 2 学科体制の工学部が設置され、はや 48 年経過しました。そして 24 年前、工学部設置よりちょうど中間地点の平成元年に工学部が改組され、電気工学科と電子工学科が統合され電気電子工学科となりなりました。その 4 年後、平成 4 年 9 月に電気・電子工学科卒業生で創る同窓会「湖鳥会」が発足し今日に至っています。

発足以来 21 年、湖鳥会会員は増え続け、現在総勢 4,100 人（学部・大学院卒）を超える大きな集まりとなり、更なる拡大が見込まれます。近年は各地での機会を得、鳥取、大阪、東京にて諸先生、会員の皆様、在校生の皆様が集まり同窓会を開催してまいりました。2011 年よりは 2 年連続で Home coming day in Tottori として工学部内で在校生と卒業生の集まりを開催しています。そして今年 2013 年も 11 月 9 日（土）に工学部内で Home coming day in Tottori 2013 が開催されます。

この Home coming day in Tottori では例年、第 1 部：在校生の為の講演会、第 2 部：卒業から学科・学部・大学への提言、を骨子としたプログラムが進められます。この機会に多くの湖鳥会会員の皆様にお集まりいただき、先生、在校生、卒業生の交流、又会員相互の交流を深められんこと心より願っている次第です。

鳥取大学は今年 4 月学長が能勢学長より代わり、新しく豊島（てしま）学長が就任されております。国立大学法人化以降も多くの改革がなされましたが、新学長のもと更に大きく進化していくものと確信しています。皆様すでにお気づきかと思えますが、改めて工学部の目的を読み直してみますと、「工学部は人類の福

社と社会の発展に資するため……」「人としての理想を求める工学を追及し……」と技術・研究の追求のみならず、まさに今の時代にマッチした素晴らしく壮大なものとなっています。

日頃は各地、様々な分野でご活躍の会員の皆様におかれましては、ご多忙な日々を送っておられることと存じますが、是非11月9日開催の、Home coming day in Tottori 2013を機に、懐かしい大学を訪問頂き現在の学び舎の新しい空気に触れて見られては如何でしょうか。お待ちしております。

ご活躍の4,100人もの同窓の友に、鳥取の地で学んだ証としての湖鳥会を通じて、青春の思い出、仲間との交流、最新の大学状況など多くをお伝えできるよう、事務局の皆様とともに取り組んでまいりますので、引き続き会員の皆様のご理解とご支援賜りますよう宜しくお願い致します。

最後になりますが、湖鳥会会員の皆様のご健康と更なるご発展をお祈り申し上げます。

## ◇教職員のご挨拶◇

### 「新任の挨拶」

情報エレクトロニクス専攻 画像工学システム

助教 三 柴 数



湖鳥会の皆様、はじめまして。平成24年1月に画像工学システム研究室（旧・電子回路工学研究室）に着任いたしました、三柴数と申します。専門は画像処理、中でも画像の拡大縮小といった基本的な問題を扱っております。前職は慶應義塾大学で助教をしており、こちらに着任するまでは東京近郊のみで生活をしておりました。着任早々の大雪に、豪雪地帯・鳥取県の厳しさを実感いたしました。それを除けば非常に快適な生活が送っております。

担当している授業は、プログラミングⅢほか、実験科目などです。私が学生だった頃と比較して実感しているように、学生の質や社会の求める人材像などは、年々変化しています。教育をする立場としては、これらの変化を受け入れ、その時々々の学生にとってベストな教育とはどのようなものなのか、を考えた教育を心がけております。

とはいえ、教授すべき立場である私自身、まだまだ学ぶべきことが非常に多いと感じております。どうか、湖鳥会の皆様にはご指導のほど、よろしくお願いいたします。

### 「新任の挨拶」

技術職員

河 尻 直 幸



湖鳥会会員の皆様、はじめまして。この度、平成25年4月1日付けで鳥取大学技術部に着任いたしました技術職員の河尻直幸と申します。鳥根大学総合理工学部電子制御システム工学科を卒業後、紆余曲折を経て鳥取大学で働くこととなりました。

出身は、妖怪の町として知名度が上がってまいりました鳥取県境港市です。同じ県内でありながら鳥取市へ訪れた経験はほとんどなく、公私共に右も左もわからない状況で毎日を過ごしております。

現在は、学生実験の指導などを通して電気電子工学科に携わらせていただいております。至らない点が多く、日々の業務を通じて自分自身の知識不足を痛感している次第であります。こんな私ではございますが、皆様に助けていただきながら、頼れる技術職員を目指してこれからも精進してまいりますので、何卒よろしくをお願いいたします。

## 在籍学生数 (2013年3月現在)

- 工学部電気電子工学科：320名
- 工学研究科情報エレクトロニクス専攻電気電子工学コース（博士前期課程）：72名
- 工学研究科情報エレクトロニクス専攻電気電子工学講座（博士後期課程）：16名

## 卒業生数 (2013年3月現在)

学部卒業生総数： 3,306名 (1969年3月 - 2012年3月)

- 旧電気工学科： 934名 (1回生：1965年4月入学 - 24回生：1988年4月入学)
- 旧電子工学科： 779名 (1回生：1968年4月入学 - 21回生：1988年4月入学)
- 電気電子工学科： 1,593名 (1回生：1989年4月入学 - 21回生：2009年4月入学)  
(この内、JABEE認定修了者数677名)

大学院博士前期（修士）課程修了生総数：942名 (1971年3月 - 2013年3月)

- 旧電気工学専攻： 131名 (1回生：1969年4月入学 - 24回生：1992年4月入学)
- 旧電子工学専攻： 173名 (1回生：1972年4月入学 - 21回生：1992年4月入学)
- 電気電子工学専攻：501名 (1回生：1993年4月入学 - 15回生：2007年4月入学)
- 情報エレクトロニクス専攻 電気電子工学コース：  
137名 (1回生：2008年4月入学 - 4回生：2011年4月入学)

大学院博士後期課程 修了生総数：62名 (1997年3月 - 2012年3月)

- 情報生産工学専攻 電子情報システム講座：53名 (1回生：1994年4月入学 - 14回生：2007年4月入学)
- 情報エレクトロニクス専攻 電気電子工学講座： 2名 (1回生：2008年4月入学 - 3回生：2010年4月入学)

## 電気電子工学科 公開行事 (平成24年)

- オープンキャンパス (8/5) 参加者：約40名  
・学科の紹介、JABEE認定校、取得可能な資格  
・実験室、研究室見学
- ふれてみる不思議な電気の世界2011 (8/8)  
参加者：小学生30名  
・午前：見学（音の実験、超高電圧実験、超伝導実験、静電気実験、家電製品の解体実験）  
・午後：工作（手作りモーター、手作り電球、ブラシ式走行ロボット）  
※学長裁量経費による補助事業
- 研究室公開 (10/6)  
大学祭に合わせて毎年研究室を公開
- 保護者説明会 (10/6) 参加者 約80名
- 大学祭にて工学部の紹介 個人面談
- 同窓会 旧友と母校の再会 in Tottori (11/12~17)  
参加者 学部138名、大学院生40名、一般14名、教職員24名  
パネルディスカッション、交流会・懇親会
- 卒業研究発表会 (2013・2/16)  
「未来はここから生まれる！ 電気電子の未来2013」  
参加者：全教職員、全研究室配属学生 保護者、一般  
場 所：鳥取市文化センター（鳥取市西町）  
・ショートプレゼンテーション (73名)  
ポスタープレゼンテーション  
終了後懇親会（鳥取大学生協）

## 鳥取大学情報サイト

- オープンキャンパス情報 <http://www.tottori-u.ac.jp>
- 進学相談会情報 <http://daigakujc.jp/toridai/>

### 鳥取大学電気電子工学科同窓会「湖鳥会」事務局連絡先

〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101番地

鳥取大学 工学部電気電子工学科 気付

電気電子工学科同窓会「湖鳥会」

TEL：0857-31-5247(代) FAX：0857-31-0880

Eメールアドレス：sasaoka@ele.tottori-u.ac.jp mohki@ele.tottori-u.ac.jp

ホームページ <http://kocyoukai.ele.tottori-u.ac.jp/>